

総務産業建設常任委員会 会議録（要旨）

開催日時 令和8年3月12日（木） 9時54分～11時01分
開催場所 全員協議会室
出席委員 恩道正博 委員長、川口正己 副委員長
福島誠一、土屋克之、北川悦子、中川 達
欠席委員 （なし）
オブザーバー 七田満男 議長
傍聴者 （なし）
説明員 山崎 副町長、松井 総務部長（欠席）、北野 総務部担当部長、宮本 都市整備部長、上前 復旧復興推進部長、重島 消防長、渡辺 総務課長、安下 総務課担当課長、吉田 税務課長、北 財政課長、奥田 企画振興課長、宮崎 都市建設課長（欠席）、法利 復興まちづくり推進課長、石垣 復興まちづくり推進課担当課長、宮井 課参事、四月朔日 地域再建整備課長、中本 消防署長、平松 消防課長、長谷川 会計課長
事務局・書記 堀川 議会事務局長、川端 事務局次長兼参事

議 件

（1）町長提出議案の審査 【委員会付託表参照】

・総括質疑

【委員】

議案第32号 内灘町勤労者会館条例を廃止する条例について、町勤労者協議会との協議状況は。

【説明員】

施設廃止後は、他の公共施設等の会議室を使用することで承諾を得ている。

◎ 付託された議案：すべて原案可決

（2）執行部からの報告事項

・災害時における応急対策に関する協定の締結について

内灘町において地震などの災害が発生した際、町の要請に応じて被災者のための緊急支援活動や復興支援活動を行うため、令和8年3月2日付で「一般社団法人 災害支援ONE TEAM（ワンチーム）」と「災害時における応急対策に関する協定」を締結した。

・内灘町地域防災計画修正の進捗状況について

令和6年能登半島地震の教訓や、最新の石川県地震被害想定調査結果を反映させるため、文言等の修正を進め、2月26日の町の第2回防災会議にて修正案が承認された。主な修正点として、洪水浸水想定区域図への「河北潟放水路」及び「河北潟西部承水路」の追加や、地震被害概要の変更がある。3月中旬（12日）の県への報告・修正完了後、町ホームページにて公表予定。

・内灘町ツキノワグマ等出没対応マニュアルについて

法改正により、安全確保等の条件の下で市町村が委託した者による銃猟を可能とする「緊急銃猟制度」が創設されたことに伴い、県の対応マニュアルに準じて町の対応マニュアルを定める。クマ等が市街地に出没した際、追い払いができない場合は、安全を確保した上で、許可捕獲、緊急銃猟等により対応する。

【委員】

街中での発砲は危険ではないか

【説明員】

まずは罾などによる捕獲を試みたうえで、危険が差し迫った場合には、安全確保のうえ、銃猟による捕獲も行う場合もある。

・予算の事故繰越しについて

能登半島地震の復旧事業に関し、液状化対策や地籍事業との調整に不測の時間を要していることや、人材確保の困難などの理由により、年度内の完了が困難なため、令和6年度から令和7年度への繰越明許費予算の一部を事故繰越しとして措置したい。

対象事業は、企画振興課より、①農林振興費（農業機械再取得等支援事業）、②農地農業用施設災害復旧費事業、地域再建整備課より、①道路橋りょう施設災害復旧費、②公園施設災害復旧費、③水路施設災害復旧費、となる。

・令和8年春季火災予防運動の実施について

期間は3月20日から26日までの1週間で、これに先立つ3月15日（日）午前9時より「消防本部・消防団合同火災防ぎょ訓練」を鶴ヶ丘北公民館で実施する。

・日勤救急隊の運用開始について

全国的な救急需要の増加に対応するため、救急出動が集中する平日昼間（午前8時30分から午後5時15分まで）に限定して出動する「日勤救急隊」を、令和8年4月1日より運用開始する。これにより既存の24時間運用の救急隊との2隊体制となり、現場到着時間の短縮等が期待される。

(3) その他

・その他質疑等

【委員】

液状化対策の地下水位低下工法の実証実験の進ちよく状況について。液状化対策の設備を導入した場合、のちの設備の維持管理費が住民の負担にならないようにしてほしい。

【説明員】

実験開始以降、地下水位は下がってきてはいるが、最終目標の水位までは達していない。設備稼働後の維持管理費については、国の補助を引き続き要望していきたい。

【委員】

当初予算で震災復興事業をはじめ、大きな事業が盛り込まれているが、事業の進ちよく状況等について、ホームページ等で随時発信をしてほしい。

【説明員】

情報発信に努めたい。

【委員】

放水路のトイレ解体後の対応について

【説明員】

トイレの必要性は認識しているが、現在の場所での再建は管理面からも難しく、内灘海岸・放水路回遊空間整備構想の具現化を進める中で整備を検討したい。

(以上)